

熱中症を予防しよう



熱中症は生命にかかわる病気です。

しかし、予防法を知っていれば、熱中症になったり、状態の悪化を防ぐことができます。



予防の原則



暑さを避ける

- 涼しい服装
- 帽子や日傘を利用する
- 暑い日や暑い時間帯は無理をしない
- エアコンを利用する
- 日陰を利用する



のどが^{かわ}渴いていなくても、こまめに^{ほきゅう}水分補給

- 1時間ごと（休み時間ごと）に水分をとる
- 外出前に水分補給
- 大量に汗をかいたときは 塩分補給
- 運動中の水分補給は、冷たい水を



暑さに負けない体をつくる

- 十分な睡眠をとる
- 一日三食、しっかり食べる

- ★ 深部体温が下がる
- ★ 胃にとどまる時間が短く、水分を吸収する小腸に速く移動



こんな日は、
特に注意！



気温が高い
湿度が高い
風が弱い
急に暑くなった

こんな時は、
熱中症を疑おう！



手足がけいれんする
吐き気、頭痛が起こる
脈が速くなる 顔が青白い
突然座り込む 立ち上がれない

体調が悪くなったら、無理をしない！

早めに活動を中止して、涼しい場所で休みましょう。
体調が良くないと感じた時は、無理せず自宅で休養しましょう。

熱中症かな？
と思ったら



次のような対応をとりましょう。

- ✓ 衣服をゆるめて、体からの熱の放散を助ける
- ✓ 冷たい水やタオル等があれば、それを首やわきの下、足の付け根にあてて、体を冷やす
- ✓ 自力で水分摂取ができないなどの症状が重い場合は、救急車を要請（119）する

